2020. 3. 19

教育学部・教育学研究科在学生・進学予定の学生等の皆様へ

ならびに教育学部・教育学研究科の授業を履修予定の学生の皆様へ

2020年 S1S2 ターム授業実施に関して

2020年3月18日付けで東大総長から学生の皆様にもすでにメッセージが発出されておりますように (<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/president/COVID-19-message.html>)、令和2年度の授業開始にあたりましては、「4月からの新学期授業は学事暦通り行う」「対面での講義は最小限とし、オンライン化を奨励し推進する」「新学期の開始時に、教員および学生に対してのオンライン授業のガイダンスと試行を行う」という方針で実施することになっております。

教育学研究科・教育学部におきましても、昨日3月18日の教授会において、「令和2年4月以降の授業の実施については、現在、新型コロナウイルスの感染者がどこまで拡大していくのか見通しがたたない状況にあることから、当面の間は、教室等に多人数を集めて行う授業は実施しないこととし、その場合は、インターネットを活用した授業等の代替措置を行うことを原則とする。なお、これによる対応が困難で、やむを得ずキャンパス内で授業を実施する場合には、十分な予防対策を講じた上で授業を実施することとする。」を原則として実施することを決めております。そして、そのためのオンライン授業実施のための教員研修や諸準備を現在行っているところです。

このように次年度の授業について前年度より学生の皆さんにお知らせするのも、オンライン授業に備えて、コンピューターやネット環境整備の事前準備やその心づもりを、時間的に余裕をもってお願いしたいということからです。なお、特定教室の人数が過密にならないこと、通学時の感染等を防ぐこと等を考え、基本ご自宅等学外からの受講、あるいは学内においてもコース研究室等からの分散した形での受講を想定しております。また、このような準備が難しい学生の皆さんがどの程度の数でおられるかは、追って今月中に学生支援チームから調査依頼が参る予定ですので、ぜひ回答のご協力をお願いいたします。そしてこのような形での受講が難しい学生の方々に対しては、研究科としてできる限りの物理的・心理的対応や支援を行うように、あらかじめ準備をしていきたいと考えております。

ただし、その一方でご理解いただきたいのは、すべての講義やゼミがオンラインでできるわけではないこと、対面教育に比してオンライン授業は教育効果が劣る場合もあると考えられること、そもそもオンラインでは不可能な学習内容や活動もあることです。また、教育学部・教育学研究科では数多くの非常勤講師の先生方の授業もあります。非常勤の先生方にも、本日づけ、オンライン授業のための研修や支援のご案内を研究科として行っていく予定ですが、このような非常時としての短期間での周知やお願いになるために、対面講義等になりうる可能性もあります。学生の方々が、たとえオンライン授業を要望されてもすべての開

講科目がオンラインでという形にはならない場合もあります。これらは、教員側のこれまでの教育経験の知識や良識にもとづく判断によって行われますので、この点もあわせてご連絡いたします。

より具体的な案内

1. 4月2日ガイダンスに関して

午前の進学・入学ガイダンスもオンライン配信で行います。しかしながら、初めて本学や本学部に入進学され、不安を覚えられる方や、ご自宅等でオンラインでの授業を受ける準備や環境を整えることが難しい方もおられると思いますので、その場合には感染予防へ配慮した形で座席等の距離を取り、指定の場所での参加が可能となるよう準備をいたします。また、午後の各コース別ガイダンス等に関しては、コースの人数や内容によって各コースで判断されていますので、その指示に従ってください。

すべて詳細は、学生支援チームやコースからの案内に従って、ご参加ください。

2. 4月3日からの授業開始後1-2週間に関して：

教員も学生の多くの皆さんも、オンライン授業は初めての方が多いと思います。またオンライン授業も、教員と学生さんの信頼関係の上で成り立ちます。よって、授業の初回等は、感染予防への配慮を十分に行いながら対面で行い、当分の間は事前の課題等を示して行っていただき、その後にオンラインあるいは対面での授業を行う、あるいは開始時期や時間等の変更を行うこともあります。これらは今後 UTAS 等で学生さんに掲示を出しますので、それをよく読んで指示に従ってご参加ください。

3. 渡日困難の学生・入国後自宅待機が求められている皆様へ

渡日が困難な学生の方に対しては、学生支援チーム、各コースにまずご連絡のうえご相談ください。東京大学全学の取り決めに応じて、入学等に関しては対応をさせていただきます。また、入国されて2週間の自宅待機のためにさまざまな手続き等のための来学ができない場合も学生支援チームまで早めにご連絡をください。オンライン授業等は学内でなくても受講が可能となりますし、ガイダンスや授業等の一部は録画して後日の対応も可能となります。

4. 今後の見通しに関して

今後このような事態がいつまで続くかは私どももわかりません。少なくとも現状におきましては、S1 タームに関しては上記のような対応を行う予定です。ただし、今後の感染拡大状況や緊急事態宣言の発出、本学部・本研究科、本郷キャンパスで複数の感染者が出現した場合などは、ただちに対面講義や出校停止などを発出する場合がありますので、電子掲示

板等の情報をこまめにチェックし、その指示にもとづいて行動をして下さい。

また学生の皆様におかれまして、発熱等の体調不良の場合は、来校はお控えください。来校時には、建物や教室に入る際の手洗いや手指の消毒、マスクの着用や咳エチケットなど、相互に感染拡大予防につとめ、健康衛生管理にご協力ください。

以上は、S1 授業に関してのご案内となりますが、学生さんの中には、授業だけではなく、新入学に際して、新たな環境での学生生活への不安等をお持ちの方もおられると思います。研究科・学部として、皆さんが安心して過ごせるよう、学業のみならず、生活や心理的経済的な支援等も含め、必要に応じてご相談や対応をしまいたいと思っております。

新年度からの皆さまの学習や研究が、中断されることなく、充実した形で実現できるよう、教育学研究科・教育学部として、教職員皆で協働しこの事態を乗り切っていきたいと考えております。

教育学研究科長・教育学部長
秋田喜代美